



健康診査の様子

答

大腸がん検診推進事業は継続することで成果が期待できる。国の動きに注視していきたい。

問

健康診査費の大腸がん検診推進事業は国の単年度助成事業だが、今後国の助成がなくなっても三条市独自で続けていくのか。

答

年間1・2%の削減。金額では13万4000円程度の低減効果が見込まれる。

問

庁舎管理費のLEDランプ取り替えで、どのくらいの節電効果を見込んでいるか。

【歳入／2款総務費について】

6月定例会 (平成23年 第3回) 一般会計補正予算など全議案可決

～小中学校間交流活動バス購入、漢学の里駐車場拡張予算ほか～

6月定例会は、6月13日から28日までの16日間にわたって開かれました。

本定例会では、市長提出議案として「平成23年度一般会計補正予算」など10件が上程され、「平成23年度一般会計補正予算」については小中学校間交流活動バス購入に係る経費に反対討論があり、採決した結果、賛成多数により原案どおり可決し、残る9件は全員異議なく原案どおり可決、同意または承認しました。

また、「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願」を採択し、議員発案として提出された「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書」を可決し、内閣総理大臣や国の関係行政機関に対して意見書を提出しました。

答

小中交流のバス利用の要望が多い。不足分は学校が独自に民間バスを借り上げて対応している。コストは民間バスの委託より安い。

問

教育総務費のスクールバス購入について、登下校用でなく小中連携のために大型バス5台、マイクロバス2台の購入は、いくら全額県のお金とはいえ台数が多過ぎるのではないか。維持費は大丈夫か。

答

財源の余裕がなかったが、県の安心子ども基金で買うことにした。全中学校区で小中の交流活動などに使用する。交流活動に民間バスを借り上げているが、今回のバスで補完する。

問

スクールバス運行費の自動車購入費7500万円については、なぜ当初予算に計上しなかったのか。小中交流活動などに使用する目的だが、通学用を使用することは、通学用にある13台のバスで交流活動のやりくりができないのか。

【10款教育費について】

大綱質疑とは、提出された議案について、詳細な審査を行う委員会に付託する前に、大まかに質疑を行うものです。この大綱質疑は会派の代表制で行っており、今回は新政クラブと日本共産党議員団が行いました。

6月定例会 大綱質疑

■議第5号

高機能消防指令システム
設備改修工事
請負契約の締結について

問

この改修工事により、現行設備と比べてどこが「高機能」になるのか。新しいシステムはどの程度の使用期間を想定しているのか。

答

現在のシステムが19年経過し、保守部材の枯渇による保守困難のため最新システムに改修する。基本構成は大きく変わらないが、機能を大幅に強化し、全国的なデジタル化にも対応できる設備になる。耐用年数は10年から15年。

■議第6号

平成23年度
三条市一般会計補正予算
【歳入／17款寄附金について】

問

一般会計に入れない義援金はいくらか。また、現金での保管は誰の責任で管理しているのか。現在被災者支援に充てている義援金について、今後国から手当があった場合、どのように処理するのか。

答

6月10日現在での義援金は8152万3679円、そのうち歳入に入れない義援金は3168万6174円、これは会計課長が管理している。義援金は三条市が頂いたもので、余った場合は一般会計に入れる。



現在運行中のスクールバス

■報第1号 専決処分報告
(平成23年度三条市国民健康保険事業特別会計補正予算)

問

繰り上げ充用金の7531万7000円は、平成22年度の決算における赤字分であるが、今年度の国保税の値上げの根拠としていた「赤字見込み1億8000万円」と大きな開きがあるのはなぜか。

答

医療費の実績額が見込みよりも減少したこと、収納率の向上などで歳入が増えたこと、国の交付金が増額となったことにより、赤字額が減少した。

インターネットで市議会の生中継・録画放送をご覧いただけます



三条市議会では、平成23年6月から本会議のインターネット生中継を開始しました。

インターネットに接続できる環境とパソコンがあれば、本会議の様子がだれでも見ることができますので、ぜひ、ご覧ください。なお、仕事で生中継を見ることができないという方は、録画中継を見ることができまので、そちらをご覧ください。(録画中継は、原則本会議終了後おおむね5日程度で視聴可能になります。)

三条市ホームページ (<http://www.city.sanjo.niigata.jp/>)